

新しい文化会館の整備に関する基本構想（案）に対する意見公募の結果

- 募集期間 令和6年2月1日(木)から令和6年2月29日(木)まで
- 受付件数 4名 14項目
- 回答区分 A：基本構想（案）を修正するご意見
B：基本構想（案）に同様の記載があり、修正しないご意見
C：B以外の理由で、基本構想（案）を修正しないご意見
D：今後、基本計画等を策定していく際に参考とすることをご意見

●ご意見の内容と飯田市からの回答（受付順）

No.	項 目	お寄せいただいたご意見（原文のまま載せています）	回 答	
			区分	考え方
1	7ページ 基本理念が描いている 新しい文化会館	・市民、とりわけ次世代を担う子供たちが、内外一流芸術家の表現活動に気楽に触れ、感動を味わう機会の提供。 ・誰もが気軽に一流の芸術活動を味わえる開放的な楽しい場の創出。 ・文化活動を支える地道な業務に喜び、誇りをもって、市民が楽しい場を自ら創造しようと努める感性豊かな職員、スタッフの育成、配置。	B	基本構想（案）に同様の記載があります。 今後、基本計画や管理運営計画などを策定していく際に参考とします。
2	14ページ ②飯田文化会館の 施設概要	飯田方式という実行委員会形式の長所短所を見極めて再考してみる 〇〇が見たい、聞きたいだけというあまり今までの文化会館また様々な催事に接点また関心がなかった市民からするとこの方式は？でありこの制度を知らない人々との温度差がある	D	今後、基本計画や管理運営計画などを策定していく際に参考とします。
3	24ページ 2 建設に向けて	やはり何処に建設するのかを気になる方が多い	D	建設候補地は、基本計画（案）の公表までに選定する予定です。
4	31ページ 4 その他	建築音響など、各専門家の意見を取り入れ設計してほしい 設計は実績があるところを望む	D	今後、基本計画や管理運営計画などを策定していく際に参考とします。
5	12ページ 3 整備の方向性	建設理念は理解し賛同できるが、地域の防災拠点また避難所としての設備も検討してほしい	D	今後、基本計画や管理運営計画などを策定していく際に参考とします。
6	6ページ 3飯田らしい文化会館 を目指して (2)楽しさを伝える	「昔はすごい人がいた。カリスマおじさん、カリスマおばさんがいて」 誤解を感じる可能性を心配しています。昔とは？すごい人とは？カリスマ？そういう力や魅力があり、そういった方を中心に文化が育まれる…そういう事例があるとすれば具体的に示さないと誤解を招くのではないかと心配される。 オケ友を例に考えてみると、実行委員の一人一人が仕事の後、また、休日を使って音楽祭を良いものにしよう（市民に感動する音楽を楽しんでもらいたい）と現在も努力をされている。ということで、今もボランティアで取り組まれている方々はすごい方々だと思います。そうやってオケ友が育っているのではないかと思います。 「人を育てることが大事」 上から目線の感じがして、この（2）の内容からずれていると感じます。記載するとすれば「楽しく活動をすることで人が育つ」でしょうか。その後の、整備検討委員会では、…にまとめられているので、削除でよいと思います。	C	整備検討委員会中の発言をそのまま引用しています。 発言者は「地域のリーダー的存在」を「カリスマ」、また「次代につなげる」を「育てる」と表現しています。 第6回整備検討委員会の会議記録は、飯田市ウェブサイトにて掲載しています。
7	7ページ 基本理念 「感動の飯田ひろば」	4つ目の文章「非日常の舞台に立って、自分の存在や思いを他者に伝える特別な場所」の文章の中に「表現」という言葉が欲しいと思います。 例：「非日常の舞台に立って、自分の存在や思いを表現し、他者に伝える特別な場所」 イラストに「集う」、「観る」、「創る」、「伝える」、「育む」の5つの基本方針の言葉が書かれていますが、基本理念の1行目にある、「新しい文化会館は、市民の皆さんが舞台芸術で心が満たされる鑑賞の機会を提供します」の中の「鑑賞」をいかしたい。「観る」はあっても、「聴く」という言葉がないが、視覚だけではなく聴覚もきちんと捉えておくべきだと思います。 音楽を「聴く」ということは大切にすべきだと思います。ということで、「鑑賞する」という言葉にすべきだと思います。あるいは「観る・聴く」と並列にすることも良いと思います。私は「観る」という言葉からは、音楽を聴くという行為から、かなり距離を感じます。 美しい「音色・響き・ハーモニー・メロディー・倍音・音のバランス等々」を聴き味わうことの音場である文化会館のホールであるはずが、その一番の本質が抜けてしまっているように感じます。美しい音が心に沁み、涙が出る感動体験ができる本物の音場であってほしい。 そこから、市民の聴くことに対する感性が育っていくと思います。	C	「表現」は「伝える」の中に含めています。 「2 5つの基本方針と想定する事業」のとおり、聴くことも重要な要素として捉えています。 この基本構想（案）の「観る」は、聴くことも含む「鑑賞」を指す言葉としています。
8	8ページ 2 5つの基本方針と 想定する事業	別紙にも書きましたが、音楽を「聴く」ということは大切にすべきだと思います。 ということで、「鑑賞する」という言葉にすべきだと思います。あるいは「観る・聴く」と並列にすることも良いと思います。 「…舞台芸術に関心がある方は、観るだけでなく」→「…舞台芸術に関心がある方は、観る・聴くだけでなく」あるいは「…舞台芸術に関心がある方は、鑑賞するだけでなく」	C	この基本構想（案）の「観る」は、聴くことも含む「鑑賞」を指す言葉としています。

No.	項 目	お寄せいただいたご意見（原文のまま載せています）	回 答	
			区分	考え方
9	9 ページ 観る	タイトルの「観る」→「観る・聴く」あるいは「鑑賞する」 「方向性」の「…また、新しい文化会館は、さまざまな舞台芸術活動の成果発表や練習風景を観ることで、多くの方が共感し…」 →「また、新しい文化会館は、さまざまな舞台芸術活動の成果発表を鑑賞したり、練習風景を観たりすることで、多くの方が共感し…」 ＊成果発表を鑑賞することで、美しい「音色・響き・ハーモニー・メロディー・倍音・音のバランス等々」を聴き味わうため。 ＊美しい「音色・響き・ハーモニー・メロディー・倍音・音のバランス等々」を「観る」という言葉で表現することはないと思います。 「キーワード」の「観て感激する場」→「観て・聴いて感激する場」	A	「方向性」の文中「成果発表や練習風景を観る」は「成果発表や練習風景を観たり、聴いたりする」に修正します。
			C	この基本構想（案）の「観る」は、聴くことも含む「鑑賞」を指す言葉としています。 「キーワード」は、整備検討委員会中に出された表現を引用していますので、このままとします。
10	10 ページ 伝える	●普及事業【 <u>みる</u> ・演じる・ささえる市民の拡大】（以下は例示）→ ●普及事業【 <u>観る・聴く</u> ・演じる・ささえる市民の拡大】（以下は例示） ＊ここでは「観る」がひらがなになっているが、その意図がわからないと思いました。	A	「普及事業【観る・聴く・演じる…】」に修正します。
11	基本構想（案）全体 「5つの基本方針」	「集う」、「観る」、「創る」、「伝える」、「育む」が並列で記載されているが、7ページの図からも見て取れるように「集う」ことで、「観る」、「創る」、「伝える」が成り立ち、そして「育む」ことになると思います。 とすると、「集う」・「育む」が並列で、それに包括されて「観る」、「創る」、「伝える」というようになるのではないかと思います。 別紙にも記載したように「聴く」を入れたいと思います。 したがって、P10の図表の「5つの基本方針」の標記の仕方について検討願いたい。※簡単に直すとなると、5つを6つにするなど…	C	この基本構想（案）の「観る」は、聴くことも含む「鑑賞」を指す言葉としています。 「集う」は包括的なものではなく、集うことによって活動が生まれ、育まれると捉えています。
12	基本構想（案）全体 「5つの基本方針」 12 ページ サブホール	P33に、「8-③障がい者の社会参加の推進」という記載があります。視覚障がいのある方が、「観る」ことはできないが「聴く」ことで、楽しめるという観点からも、「観る」だけでは不十分に感じます。 ＊P44には「障害者」という表記があるが、既にそういう使われ方をしているので、直すわけにはいかないかもしれませんが、不自然に感じました。 以下の記載内容から、サブホールではなく音楽ホールという記載に。是非、音楽ホールの設置を。 P12に「■サブホール：舞台設備を備えた中小規模のホール」 P14に「開館当初は貸館が中心でしたが、平成元年から平成20年にかけて開催された「アフィニス夏の音楽祭」、その成果を生かして平成21年から始まった「オーケストラと友に音楽祭」、昭和54年に始まった「人形劇カーニバル飯田」、その発展形態である「いいだ人形劇フェスタ」などを中心とした文化事業の盛り上がりが大きき力となって、舞台芸術活動を創造、発信する事業館として歩んできました。」 P17に「音楽での利用が60%を超えており、舞台・演劇、人形劇での利用が続いています。」 ※多くの音楽活動をされている皆さんが、多目的なホールではなく、本物の音楽ホールでの表現を味わえるよう切に願います。純正調の美しい響きや、そこから生まれてくる豊かな倍音を味わい楽しめる「音場」によって、市民の「聴く」という感性が育っていくと思います。	C	この基本構想（案）の「観る」は、聴くことも含む「鑑賞」を指す言葉としています。
			A	44 ページ c) の5行目、「障害者」は誤字でした。国が策定した計画の名称に合わせ「障害者」に修正します。
			D	音楽ホールの整備に関しては、今後、基本計画を策定していく際に参考とします。
13	5 ページ 山元浩学識委員 7 ページ 1 基本理念	現在の文化会館は、文化会館に関心のある人しか集わない。（社会体育への参加は積極的だが、文化芸術分野への関心が低い小中学生の保護者は多い。）新文化会館では、日常的にかかわることができるような、文化芸術がもう少し身近になるように、文化会館が人々の集うことができる場所となしてほしい。 1 幼児や小・中学生等が平等に文化鑑賞する機会となるような事業の実施 2 幼児や小学生等や保護者が文化会館に日常的に集う広場の創設（例えば、図書館施設とか室内遊具の設置等）	D	ご提案のとおり、誰もが日常的に集い、文化芸術を身近なものとしてかかわれる場所となることを目指します。 今後、基本計画や管理運営計画などを策定していく際に参考とします。
14	25 ページ 2 建設に向けて (1)建設地の検討 ③建設地の選定方法	選定にあたり、②建設地を選定する際の主な評価項目 における「発展性・波及効果」の「利便性」のところに「中心市街地との距離」とあり、中心市街地とは「丘の上地域」を指すと思われるが、“みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば”となる新しい文化会館であるので、中心市街地にとらわれすぎずに、建設地を選定していただきたい。 P25②建設地を選定する際の主な評価項目の「発展性波及効果」の利便性の欄に「広域利用の可能性（リニア駅、中央道 IC）とあるが、リニア駅近辺を建設地とすることを希望します。 理由1 リニア中央新幹線により、全国（世界）各地から新文化会館での団体の公演の可能性が広がる。基本理念にある「全国や世界の方々との繋がり合い」が実現できる。→現在は、高速バスや自家用車を利用して時間と交通費を費やして公演を観に出掛けるしかない。リニア中央新幹線の利用により、多くの団体の公演の機会の増加が見込める。（全国から飯田が近くなる） 理由2 リニア中央新幹線により、全国（世界）各地から新文化会館での団体の公演を観に飯田に来る人々が増える。（リニア駅からの利便性を考えると、駅から徒歩1km以内ならいいなと思います。丘の上地域は駅から何らかの交通手段を必要とする。）→①経済効果が期待できる ②飯田に住むことのデメリットが減る（移住者の増加、飯田へのUターンに繋がる可能性）	D	今後、基本計画を策定していく際に参考とします。